

個別作業実施計画一覧表

モデル地区名	計画策定者	作業予定日時	作業概要（作業目的、作業範囲、方法等）	必要人員	必要な道具	必要な消耗品	その他必要な事項	保険
ススキ群落① （インターチェンジ草地）	下桑原牧野農業協同組合	10月上旬の平日に実施予定	霧ヶ峰インターチェンジ付近の強清水園地はススキが優占しているため、ススキを刈取り草原外へ搬出することにより、ススキにダメージを与え、多様な植物が生育する草原に再生する。作業方法としてはなるべく他の植物を刈取らないようススキを株ごとに刈払機で刈倒し、ひも等で束ねて草原外へ搬出する。範囲については、作業人員により変更するが、概ね1ヘクタールを目標とする。搬出したススキの処分については、堆肥化・畜産業者への提供・業者委託での焼却・人工林への堆積等が考えられるが、今後検討していく。	50人程度	刈払機、草刈り鎌（柄が短く、刃が厚いもの）、熊手、携帯燃料タンク、（運搬用トラック）	混合燃料、替刃（使用台数分準備）、麻ヒモ、ゴミ袋、皮手（薄手で柔らかいもの）、軍手	ススキ処理方法の検討。 必要に応じて道路使用許可及び交通誘導員等交通安全対策。 刈払機は経験者のみ使用	ボランティア保険未加入者については協議会で保険加入手続きを行う
ニッコウザサ群落①（車山肩東）	霧ヶ峰高原牧野農業協同組合	9月10日（水）実施予定	車山肩東側ピーナスライン上はニッコウザサが優占しているため、ササを刈取り草原外へ搬出することにより、ササにダメージを与え、多様な植物が生育する草原に再生する。作業方法としてはなるべく他の植物を刈取らないようササを刈払機で刈倒し、ひも等で束ねるかフレコンバックに入れ、草原外へ搬出する。範囲については、作業人員により変更するが、概ね1ヘクタールを目標とする。搬出したササについては、同箇所ピーナスライン下の人工林へ堆積する。	40人程度	刈払機、草刈り鎌（柄が短く刃が厚いもの）、熊手、手箕、携帯燃料タンク、（運搬用トラック）	混合燃料、替刃（使用台数分用意）、フレコンバック、ゴミ袋、皮手（薄手で柔らかいもの）、軍手	必要に応じて道路使用許可及び交通誘導員等交通安全対策。 刈払機は経験者のみ使用	ボランティア保険未加入者については協議会で保険加入手続きを行う
レンゲツツジ群落③（車山肩西）	霧ヶ峰湖東牧野農業協同組合	9月平日に実施予定 諏訪市雑木処理実施日（9月27日（土））と2週間以上離す	車山肩西側遊歩道沿いにレンゲツツジの群落が点在しており、森林化を促進している。レンゲツツジを伐採することにより森林化を防ぎ、多様な植物が生育する草原に再生する。作業方法としてはなるべく他の植物を損傷しないようレンゲツツジをチェーンソー又は刈払機で伐採し、玉切りにしてその場へ放置する。範囲については、作業人員により変更するが、概ね1ヘクタールを目標とする。	30人程度	チェーンソー、刈払機、手のこ、なた、草刈り鎌（柄が短く刃の厚いもの）、携帯燃料タンク	混合燃料、替刃（使用台数分用意）、皮手（薄手で柔らかいもの）、軍手	玉切りはなるべく細かく行う チェーンソー、刈払機は経験者のみ使用	ボランティア保険未加入者については協議会で保険加入手続きを行う
外来種駆除㊦ （踊場湿原入口オオハングソウ）	上桑原牧野農業協同組合 小和田牧野農業協同組合	諏訪市教育委員会駆除日に併せて実施（文化庁の許可後に決定）	踊場湿原入口付近に侵入が見られる特定外来生物「オオハングソウ」を駆除する。駆除方法としては県が作成する 外来植物駆除対策の手引 に基づき、刈取り又は抜取により行う。抜取による地下茎の駆除にあたっては土壌の攪乱防止、周辺の在来植物への影響について十分留意する。駆除した個体は外来生物法の規定に基づき、焼却処分を行う。また、オオハングソウの侵入は上桑原農業協同組合所有地と小和田牧野農業協同組合所有地にわたっているため、作業は共同で行う。	全体で10～15人の少人数で行う	草刈り鎌、草抜き、スコップ、移植ごて、種子除去マット等	ゴミ袋、軍手	駆除した外来植物の処理はゴミ袋に入れて諏訪市の運搬車両にて清掃センターにて運搬し、焼却処分とする	ボランティア保険未加入者については協議会で保険加入手続きを行う

モデル地区名	計画策定者	作業予定日時	作業概要（作業目的、作業範囲、方法等）	必要人員	必要な道具	必要な消耗品	その他必要な事項	保険
外来種駆除㉔ （池のくるみ 周辺ハルザキ ヤマガラシ）	小和田牧 野農業協 同組合	「霧ヶ峰高原を美し くする会」駆除日に 併せての実施 平成26年6月10 日（火）予定	池のくるみ地区に侵入が見られる外来生物「ハルザキヤマガラシ」 を駆除する。駆除範囲は高標高地から種が流入しているおそれがあるため、グライダー滑走路付近から池のくるみ一帯を行う。駆 除方法としては県が作成する外来植物駆除対策の手引に基づき刈 取り又は抜取により行うが、抜取による場合は、抜き取ったあと は土壌の攪乱を防ぐため、復元することとする。また、周辺の在 来植物への影響を最小限にするよう留意する。駆除した個体は焼 却処分を行う。なお、同種の駆除は「霧ヶ峰高原を美しくする会」 主催でも毎年行っているため、同日に駆除箇所を分担して行える よう調整する。	当該箇所全体 で40人程度	剪定バサミ、種 子除去マット等	ゴミ袋、麻ヒモ （化学繊維ロー プ）、軍手	駆除した外来植物の 処理はゴミ袋に入れ て諏訪市の運搬車両 にて清掃センターに 運搬し、焼却処分とす る 事前に下桑原牧野農 業協同組合、諏訪市グ ライダー協会と協議を行 う。	ボランティア ア保険未加 入者につい ては協議会 で保険加入 手続きを行 う
外来種駆除㉕ ㉖（強清水湿 地オオハンゴ ンソウ）	諏訪市	6月中旬の平日、7 月31日、8月下旬 に実施予定	強清水湿地及びキャンプ場付近に侵入が見られる特定外来生物 「オオハンゴンソウ」を駆除する。駆除方法としては県が作成す る外来植物駆除対策の手引に基づき、刈取り又は抜取により行う。 抜取による地下茎の駆除にあたっては土壌の攪乱防止、周辺の在 来植物への影響について十分留意する。駆除した個体は外来生物 法の規定に基づき、焼却処分を行う。なお、当該箇所の駆除は毎 年、諏訪市が主催して行っているため、霧ヶ峰みらい協議会とし ては、諏訪市と共催の形で実施する。	前年度は各回 20名程度。な るべく大勢で 取り組む。	剪定バサミ、ス コップ、移植ご て、種子除去マ ット等	ゴミ袋、軍手	駆除した外来植物の 処理は、ゴミ袋に入れ 密封し、諏訪市の運搬 車両にて清掃センタ ーに運搬し、焼却処分 とする。	ボランティア ア保険未加 入者につい ては協議会 で保険加入 手続きを行 う
外来種駆除㉗ （強清水園地 ヘラバヒメジ ョオン・メマ ツヨイグサ）	下桑原牧 野農業協 同組合	2種とも7月上旬の 平日同日に実施予定	強清水園地一帯に侵入が見られる2種の外来植物の駆除を行う。 駆除方法については県が作成する外来植物駆除対策の手引に基づ き刈取り・抜取のいずれかで実施する。抜取の場合は土壌の攪乱 防止のため抜取あとは復元し、周辺の在来種への影響に十分配慮 して実施する。処理については、焼却処分とする。	15～20人	草刈り鎌、剪定 ハサミ、草抜き、 移植ごて、種子 除去マット、運 搬車両等	ゴミ袋、軍手	駆除した外来植物の 処理はゴミ袋に入れ て密封し、諏訪市清掃 センターへ運搬し、焼 却処分	ボランティア ア保険未加 入者につい ては協議会 で保険加入 手続きを行 う
外来種駆除㉘ （車山高原ヘ ラバヒメジ ョオン・セイヨ ウタンポポ・ フランスギク）	北大塩財 産区 車山高原 観光協会	7月中旬の平日にヘ ラバヒメジ ョオン・フ ランスギク の駆除を同日に実施予定 セイヨウタンポポ の駆除を6月上旬の 平日に実施予定	車山高原一帯に侵入が見られる3種の外来植物の駆除を行う。駆 除方法について、ヘラバヒメジ ョオンは県が作成する外来植物駆 除対策の手引に基づき刈取り・抜取のいずれかで実施する。セイ ヨウタンポポ・フランスギクについては、地上部及び地下茎の駆 除が必要であることから極力抜取により実施する。抜取の場合は 土壌の攪乱防止のため抜取あとは復元し、周辺の在来種への影響 に十分配慮して実施する。処理については焼却処分とする。	ヘラバヒメジ ョオン・フラン スギク 各 20人 セイヨウタン ポポ 10～ 20人	草刈り鎌、剪定 ハサミ、草抜き、 移植ごて、種子 除去マット等	ゴミ袋、軍手	駆除した外来植物の 処理はゴミ袋に入れ 密閉し、茅野市所有の 運搬車両により茅野 市清掃センターへ搬 入・焼却処分とする	ボランティア ア保険未加 入者につい ては協議会 で保険加入 手続きを行 う